

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	29	伊賀市らしい景観を守り、活かす	評価責任者 (基本施策主管課長)	都市計画課長 清水 仁敏
-------	----	-----------------	---------------------	-----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 快適 政 策 自然と調和し、秩序のあるまちづくり
① 市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>市民意識調査によると、満足度は平均を大きく上回っているが、必要性はやや平均より少ないことがわかる。 また、満足度、必要性は横ばいで、7割以上の市民が満足しており、9割近くの市民が景観の維持や整備を望んでいる。</p>
③ 基本施策の現状と課題	<p>平成17年に景観法が施行され、美しく、優れた景観を守り、創出することが行政と市民の責務になった。 ①平成21年1月から「伊賀市ふるさと風景づくり条例」を施行させ、「伊賀市景観計画」に沿った景観まちづくりを進めるため、制度の普及を促している。 ②上野地区では、上野城を中心に重点区域等を設定し、それを含め地区を城下町地区を定め、歴史文化や風土と調和した景観の保全と形成を進めている。 ③大山田地区では、「ゆめさき会」を主体とした住民主体の「いぶし瓦の常夜灯」を活用した景観づくり、あるいはシンボジュムの開催など景観まちづくりの取り組みを進めているが、市民活動の拠点が無い。また、「いぶし瓦の常夜灯」は、設置後の年数が経過しており、器具の不具合の発生や地元自治会の維持管理費用の負担が大きくなっている。</p>
④ 基本施策の意図、今後の展望	<p>①「伊賀市ふるさと風景づくり条例」の浸透を図るとともに、「伊賀市景観計画」に沿った景観まちづくりを進めるため、継続した啓発や指導を行う。 ②「城下町区域」での景観の保全や創出に向け、制度普及や啓発を強化する。 ③住民主体の活動の継続のため、活動拠点を設ける必要がある。また、景観を形成する施設について、予算の範囲内で適切に維持管理しなければならない。</p>

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額	
1	大山田支所振興課	72-1 景観整備事業	有	1,281	1,264	1,264	1
2	大山田支所振興課	72-2 景観整備事業(いぶし瓦の常夜灯維持管理経費)	無	806	891	891	2
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
(以下 続紙)							
事業費 合計				2,087	2,155	2,155	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	シンボジュム参加者数が目標を下回っており、市民への周知方法などを検討する必要がある。常夜灯の維持管理については、限られた予算内で行う必要があり、引き続き計画的な器具等の更新を行う必要がある。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	景観まちづくりが、行政と市民の協働によるものとの観点から、より多くの市民に景観まちづくりを啓発するためのシンボジュムの開催や、景観を形成している常夜灯の維持管理を継続して行うことは、景観の保全や継承につながるもので適当である。
3 役割分担の妥当性	景観まちづくりが、行政と市民との協働によるものとの観点から、シンボジュムの開催に係る行政の係り方や、常夜灯について電気代の一部を負担しているのみであるなど費用負担は妥当である。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	行政と市民の協働による景観まちづくりを進める上で、シンボジュムの参加者を増やすことで、景観まちづくりに対する理解・啓発を進める観点から、会の活動の周知やシンボジュムの開催の持ち方など引き続き検討の余地がある。このため、「ゆめさき会」については、事務局を住民団体へ移行途中であるが、会員数の増加が少なく、財政基盤が脆弱であることから、住民自治協議会など広く受け入れ団体を検討する必要がある。

⑤基本施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
市民活動の推進		シンボジュム参加者数		1
景観形成物の適正管理		補助した常夜灯の数		2
伊賀市景観計画の普及		広報回数		3

  

基本施策指標名	単位	過年度実績			評価年度 目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H21	H22	H23	H25	H27			
1 シンボジュム参加者数	目標	人	50	50	50	50	50		
	実績	人	48	40					
	達成率	%	96.0	80.0					
2 補助した常夜灯の数	目標	基	72	72	72	72	72		
	実績	基	72	72					
	達成率	%	100.0	100.0					
3 広報回数	目標	回			2	2	2		
	実績	回							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
	目標								
	実績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					